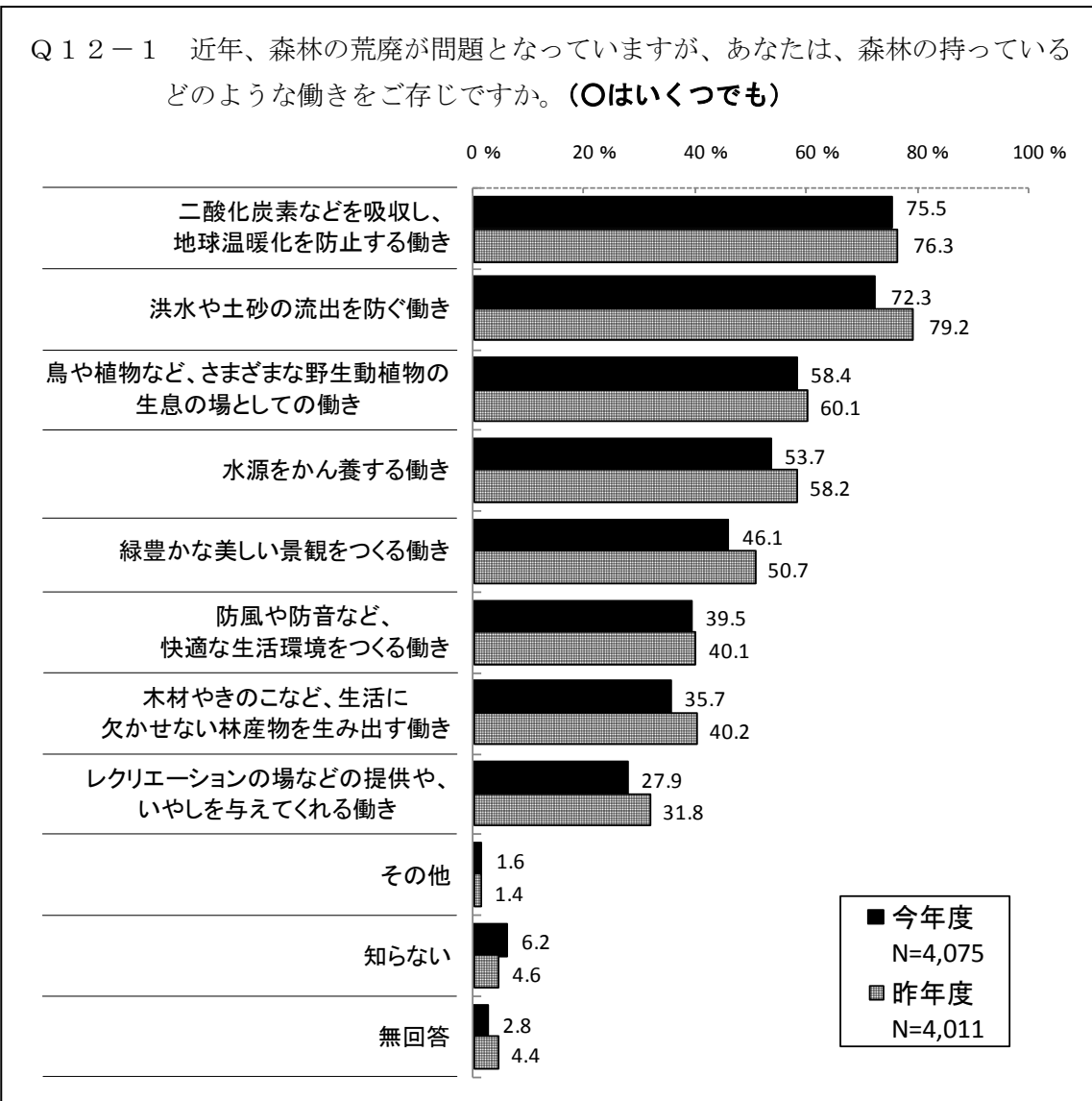


## 12. やまぐち森林づくり県民税

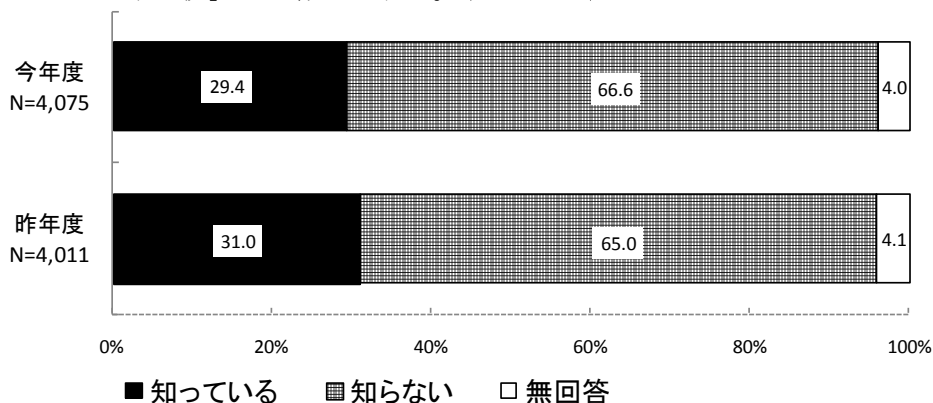
### 12-1. 森林の持っている働き



森林の持っている働きについて、「二酸化炭素などを吸収し、地球温暖化を防止する働き」(75.5%)、「洪水や土砂の流出を防ぐ働き」(72.3%)で7割を超えて高く、次いで「鳥や植物など、さまざまな野生動植物の生息の場としての働き」(58.4%)、「水源をかん養する働き」(53.7%)、「緑豊かな美しい景観をつくる働き」(46.1%)などの順となっている。

## 12-2. 「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況

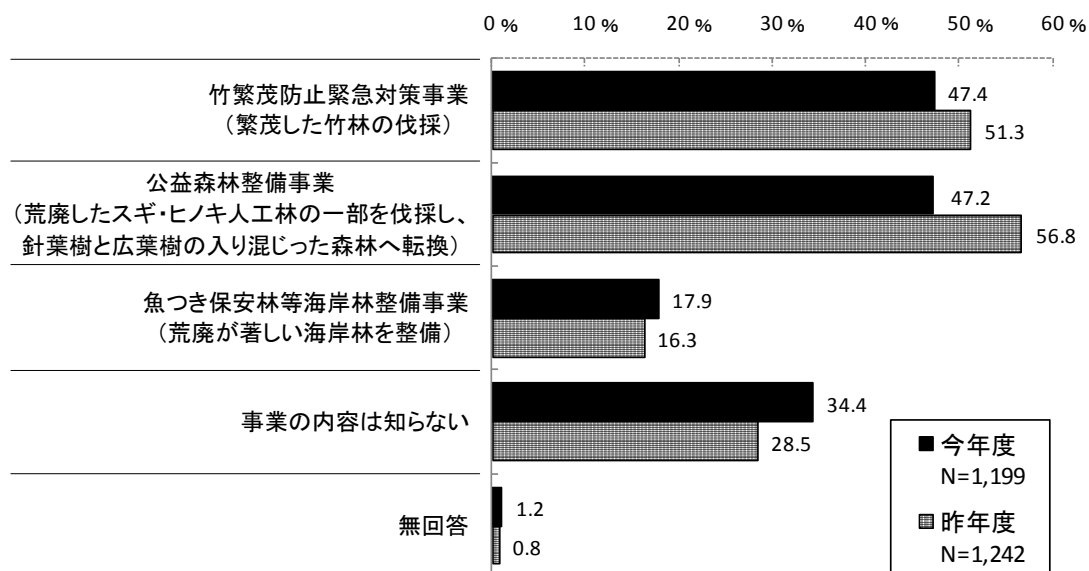
Q12-2 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。(〇は1つ)



「やまぐち森林づくり県民税」の認知状況について、「知っている」が29.4%、「知らない」が66.6%となっている。昨年度と比較しても、大きな差は見られない。

## 12-3. 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容

Q12-3 あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容についてご存じですか。(〇はいくつでも)



Q12-2で「やまぐち森林づくり県民税」を「知っている」と回答された方に、「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業の内容について質問すると、「竹繁茂防止緊急対策事業(繁茂した竹林の伐採)」(47.4%)、「公益森林整備事業(荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部を伐採し、針葉樹と広葉樹の入り混じった森林へ転換)」(47.2%)が4割を超えている。昨年度と比較すると、「事業の内容は知らない」が5.9ポイント上昇している。